

笑顔あふれる街づくりを実現します!

みのり通信

2023年
夏号
[令和5年]



Facebook 公式ホームページ



■ 富山みのり道政事務所 〒005-0006 札幌市南区澄川6条4丁目2-1 澄川ビル2F
TEL : 011-813-7733 FAX : 011-813-7778

URL <http://minorihatakeyama.jp>

■ 北海道議会民主・道民連合議員会 〒060-0002 札幌市中央区北2条西6丁目

Mail minorihatakeyama.jp

ご挨拶

日頃より「富山みのり」の議員活動ならびに連合後援会活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。心より感謝いたします。

富山みのりは北海道議会議員として3期・9年目の活動がスタートしました。

現在、北海道議会で産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会の委員、保健福祉委員会では委員長として活躍しております。また民主・道民連合議員会では副会長として重責ある立場に就き、活動の場を広めています。

新型コロナウイルスが、今年の5月から5類扱いとなり、お祭りなどのイベントがコロナ前のように戻ってきました。今後、連合後援会としても以前のような活動を進めていきたいと思っておりますので引き続き皆さまのご協力よろしくお願ひします。

暑い日が続いておりますが体調には十分お気を付けてください。

富山みのり連合後援会

事務局長 山本 浩之



5月11日 北海道議会臨時会初日、議員全員で記念撮影



5月17日 臨時会最終日、補正予算が提案され審議した



6月25日 あおい議員と一緒に札幌ソーティウォークで10Km踏破



5月25日 民主・道民連合は新体制となりました



毎年6月は「男女雇用機会均等月間」です



6月14日 保健福祉委員長として厚生労働省へ要請活動



7月14日 一般会計補正予算の組み換え動議を提出



7月29日 北海道新幹線、札幌車両基地工事の起工式と安全祈願

3期目スタートしました

早いもので、3期目を迎えることが出来ました。後援会の皆さまには、これまで支えていただきまして、本当にありがとうございます。道議会では5月に臨時会が開かれ、議長や副議長をはじめ、会派の役員、各委員会の所属など人事が行われました。私は保健福祉委員長となり、北海道戦没者追悼式など委員会の外でも役割を担うことが増えそうです。また、産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会の所属となり、省エネルギーの促進や新エネルギーの利用促進、原子力の安全対策など議論しています。

会派は4名の新人道議を迎え、26名となりました。前期より1名減ってしまいましたが、野党第一党としての役割をしっかりと担うべく、民主・道民連合会派一丸となって議会活動をしてまいります。

現在、赤レンガ庁舎は修復工事ではありませんが、赤レンガ庁舎の八角塔屋根を間近で見られる見学コースもありますので、近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

北海道議会議員

白田 山 みのり

令和5年 第2回定例道議会報告

第2回定例道議会は6月22日から7月14日まで行われた。一般会計補正予算、「地方財政の充実・強化に関する意見書」などを可決して閉会した。

代表質問には梶谷大志議員(清田区)が立ち、知事の政治姿勢、経済と雇用、医療・福祉課題、観光振興、エネルギー政策などについて質した。

また、畠山みのりは本会議で補正予算案について「組替え動議」を提出し、趣旨説明を行った。

主な審議経過について

知事が提案した政策補正予算は、一般家計に2,776億円を追加し、令和5年度一般会計予算総額は3兆1,517億円(前年度当初比▲2.3%)となった。

道の財政運営は、借金に当たる道債に頼る体質から脱却できず、財政難が続く中、ラピダスへの支援など施策の多くは比較的小規模な事業内容に止まっている。

2期目の鈴木道政が前途多難な道政運営にどう対峙し、その解決を図るのか「政治姿勢」「公約の実現」「道政執行方針」について質したが、1期目の反省には一切触れず「基本政策の実現に向けて全力で取り組む」と繰り返すに終始した。

多くの課題があるなかで知事には「ねらい」を明確化して、既存組織の活動を阻害しないよう慎重に取り組むべきだと質した。知事の答弁は総じて具体性に欠け、「道民の暮らしを守る」「北海道の価値を押し上げる」をどのように実現するのか、議会審議の中では全く見えてこなかった。極めて不誠実な答弁や、当を失する予算配分などを踏まえ、会派は令和5年度補正予算案について「組替えを求める動議」を提出し反対した。

代表質問の要旨

(○質問 ●答弁)

北海道の価値について

○「北海道の価値」とは何かを明確にし、具体的な予算の執行方針や政策の柱に据えるべき

●農林水産業、自然や観光資源等の大きな可能性を活かし、地域と共に未来を切り拓く。

○価値を押し上げた先に目指す北海道の将来の姿とは？

●自然文化・歴史は今後の発展に揺るぎない価値となることを確信する



知事公館・近代美術館エリアの活用

○大通公園も改修方針であることから、札幌市や他の道有施設とも一体化した活用を検討することも効果的では？

●市は都市観光等の活用エリアと位置づけ、多様な交流空間となるよう検討中。

ラピダスについて

○事業計画へどのように関与し、支援策などの検討や道民の理解を促進するのか？

●関係機関等と構築した連携体制を活用し、事業計画を共有しながら必要に応じセミナーを開催。

○自動車産業では地場企業の参入は殆ど無い。参入・雇用促進等をどのように実現させるのか？

●道内企業の取引参入や人材育成・確保に戦略的に取り組む、全道に効果を波及させる。



教育課題について

○4月当初の教員業務支援員・学習指導員の欠員が昨年比42人増の95人となった要因は何か？また実効ある改善方法は？

●教員志望者減少等を背景に欠員が生じている。教育大等と連携し様々な手立てを講じる。



予算特別委員会で質問

畠山みのりは、道内企業における働きやすい職場づくりについて質問しました。

イクボス宣言

鈴木知事は、道内8つの経済団体と行政が連携し、仕事と家庭が両立しやすい職場環境づくりを推進し、男女が共に働き子育てしやすい北海道の実現に向けて取り組む「北海道イクボス共同宣言」をしました。

※イクボスとは、育児(イク)と上司(ボス)からなる単語で、従業員のワークライフバランスや、産休・育児などを含めたキャリアを重視し、支援する上司のことを指す言葉



道内企業への支援

Q 2021年に20〜39歳までの男性を対象に「将来子どもができた場合、育児を取得したいか」という調査で8割の男性が育児を取得したいと回答しましたが、実際の取得率は15.4%に止まった。取得しなかった一番の理由は「男性が育児という考えがなかった」というものでした。

イクボスが増えれば働き方も変わり、働きやすい環境が生産性の向上へとつながり、企業にとって優秀な人材の確保につながると考えます。今後、どのような支援をしていくのか。

A 労働政策室長…道内企業の育児取得の促進に向けては、労使双方の意識変容を促していくことが必要です。国や関係機関と連携し、事業者への周知啓発や専門家の派遣、市町村が行う研修会に講師を派遣しています。

ダイバーシティ推進

Q 多様な従業員がいる現在、ダイバーシティの取り組みのひとつである性的マイノリティへの配慮は必然となってきました。道も、雇用する従業員への理解増進

に務めるべく企業への支援が必要と考えます。

A 全国を上回るペースで人口減少・少子高齢化が進む北海道では多様な人材の活躍がますます重要です。道は労働問題セミナーや電話相談、専門家を派遣し、企業への指導、助言を行っています。

性的マイノリティへの配慮に取組む企業の実態把握

Q 性的マイノリティに対する配慮として就業規則や福利厚生などの変更を行っているのは比較的大企業の印象ですが、中小企業が多い道内でどのくらいの企業が取組んでいるのか把握されていますか？

A 推進室長…道では企業の取り組み状況は把握していません。国が行った企業調査アンケートでは取組を行っている企業は全体で10.9%、従業員99人以下の企業を見ると3.8%という結果がでています。

国道230号線 定山溪2.8km区間が4車線化

白糸トンネル付近から定山溪温泉を通過し、豊平峡温泉入口までの区間 2.8kmを4車線化する工事が完了しました。

国道230号は札幌市から定山溪温泉や洞爺湖を経由して長万部町やせたな町に至る約150kmの道路で、道央圏と道南圏を最短で連絡していることから、観光シーズンを中心に大渋滞が発生し、バスの運行にも支障が出るなどの問題がありました。

今回の工事で区間の一部では無電柱化も進め、歩道幅を広げ花を植えるスペースも設置します。渋滞の緩和や観光客の増加が期待されています。

